

和楽器の音色に感動



～三味線の魅力を伝える木村さん～

中野市公民館報

2011 **3**
No.72
(通巻 No.604)
発行 中野市中央公民館
編集 文化なかの編集委員会
〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

木村俊介さん

西部公民館で演奏

西部公民館は2月4日(金)、シニア大
学公開講座を開き、和楽器奏者・作曲家の
木村俊介さんの講演と演奏会に72人が来場
しました。

木村さんは日本各地の神楽や祭礼を取材
し、リズムや旋律様式を取り入れ、しの笛、
津軽三味線などで新しい音楽を創作してい
ます。

木村さんは「明治時代、日本の伝統音楽
は西洋音楽を取り入れたことで急速に失わ
れた。日本人の中に流れている素晴らしい
オリジナリティを大切に」と話し、海外公
演やアーティストへの楽曲提供など、活躍
の様子から日本文化の素晴らしさを感じる
ことができました。

今月号の特集
雪上大合戦
やしよしまじろり他

あおぞら

時が経つのは早いもので...と、よく耳にする任期末。我々、編集委員も3年間の任期を終えるときが来ました。

私たちは、編集委員が書く「体験取材」、公民館行事を紹介する「公民館レポート」を柱に、成人式や芸能祭などの伝統行事を特集で取り上げてきました。

「広報なかの」の最終面も兼ねるカラー頁では、市民の投稿による季節の写真「花郷」も新たにスタートしました。また、今年度は600号記念号に全力を投じてきました。発行されたものを手に取ったときの達成感は清々しいものがありました。

今期の委員は前任から再任者もなく、全員が初選出の1年生という中、全てが手探りでした。市民から励ましとお叱りの言葉も頂き、時には、委員同士で活動内容をめぐって議論を戦わせながら、進めて来ました。

自分の記事が中野市内全世帯で読まれる緊張感があり、委員個人の執筆による巻頭コラム「あおぞら」は3年経っても慣れることはありませんでした。そうした中、4公民館長の「季節のコラム」はじめ、「こんにちば分館」「ふるさとの歴史」など、大勢の人に支えられたことに、感謝の言葉は尽きません。

「文化なかの」の編集を通じ、微力ながらも地域貢献できたこと信じ、ここに最後の筆を置かせていただきます。3年間、ありがとうございました。(平成20-22年度編集委員一同より)



雪上大合戦に参加した勇敢な子どもたちなど

雪の上で大合戦 猛将目指し熱戦

中野市ふるさと冒険クラブは2月20日(日)、永田小学校で「雪上大合戦」白銀の武将伝」を開いた。

雪国の特徴を生かして元気に屋外で遊ぼうと毎年、雪上運動会を開いている。今年は雪合戦を企画し、市内小学生60人と保護者、実行委員の合計約70人が参加した。

最初に、15人ずつ4グループを「軍団」とし、チーム名を書いた軍団旗づくりで合戦の準備。「嵐」「スターチーム」「JAPANESE」「ブラックドラゴン」の4軍団と個性あふれる旗が立てられた。

軍団内では総大将を中心に、学年別の体力差を補うために、低学年は雪玉を投げる鉄砲隊。高学年は新聞紙の刀を持った剣士になって相手陣地の旗を奪い合った。陣地づくりは大人たちも協力し、身を守る雪壁、堀を作って地面に緩急をつけるなど、強固な砦を築いた班もあった。

合戦が始まる

と、籠城戦や白兵戦、遠方から雪玉で援護射撃するなど、班ごとに個性あふれる戦術で勝利を競った。スローパーズならみ合いや、隙をついて果敢に陣地内へ攻め込む子どもたち

の戦い方にも個性

と性格がよく表れ、周囲で見守る大人たちも楽しませていた。



強固な砦で籠城戦

1位のチームは「天下一の軍団」。2位は「伝説の軍団」の称号を贈り、それぞれお菓子セットをプレゼント。1位の総大将は「征夷大将軍で賞」の名誉を獲得し、大きな拍手で讃えられた。たくさん旗を奪った子には「猛将で賞」として、特別なお菓子セットで健闘を讃えた。



雪玉で応戦する低学年児童

やしようまを作ろう

西部公民館

2月5日(土)に世代間交流事業として、やしようまづくり教室を開催しました。

講師、専門委員の指導で22人が参加。米粉を練りふかした後、赤や緑などの色を付け、チューリップ、バラ、ハム太郎などの絵柄のやしようまを作りました。米粉を練った大きなかたまりが、形の整った絵柄になったことに参加者から驚きの声がありました。

これからも、伝統食文化を次世代に伝えていきたいです。



やしようまでバラ作り (西部公民館)



真剣なまなざしの子ども達 (中央公民館)

中央公民館

中野市食生活改善推進協議会員の指導で、2月9日(水)、12日(土)にやしようまづくり講座を開催し、両日で58人が参加しました。

12日は親子が対象で、やしようまを作るのは初めてという子どもがほとんどでしたが、根気よく生地をこねたり、色を混ぜる作業などは大人顔負けでした。

やしようまは棒状にして切るまで模様の出来栄えがわからず、切った瞬間、それぞれの班から喜びの歓声が上がっていました。

郷土の味にふれ、自分で作るおいしさ、楽しさを感じた一日になりました。

子ども達へのメッセージ

～信濃から夢に向かって

参加者は140人ほどで、普段から野球に親しんでいる小中学生が中心でした。

プロ野球選手の仲間入りする子どもたちが今後増えることを期待します。



盛り上がったジャンケン大会

豊田公民館は、1月30日(日)豊田文化センターホールで「信濃から夢に向かって」を開催しました。

今回で4回目を迎え、竜太郎選手と中野市出身の三宅英幸選手とのトークショーから始まり、ミニ野球教室、ジャンケン大会など大盛り上がりでした。

トークショーでは、幼い頃からの夢を叶えるための努力した日々の話、これからの想いなどを話されました。



熱い想いを語る竜太郎選手

こんにちは 分館

豊田深沢区は、豊田飯山インターチェンジの北東、飯山市に隣接している区です。

高社山を南に臨み、田畑と豊かな自然に囲まれた地です。

冬は積雪が多いですが、とくに春の喜びは格別なものがあります。

区の行事は、4月、6月に道普請、下草刈りがあります。

豊田深沢分館

インターチェンジへのバイパス道路際から、奥手山区の上までの長い道のりの作業もあり、かなりたいへんですが、作業後の地元の食堂での慰労会が楽しめます。

春と秋には区の山王神社でお祭りをしています。

9月の秋祭りでは、大祓のあと、各家庭から持ち寄った煮しめを食べながら一杯。昔から深沢を見守り続けたこの神社を大切にしながら、愛郷の心、相互扶助の心を大切にしていきたいと思えます。



冬の豊田深沢地区

(分館長
尾口正二)

ふるさととの歴史

深沢というムラは市内に二ヶ所ある。旧豊田村の深沢を「豊田深沢」と呼ぶようになった。位置は大宇永江の北東、小さな堰を境に飯山市と中野市に分れている。近くに飯山市の深沢がある。ムラの戸数は現在七戸、飯山街道より分れて奥手山に通ずる道路の沿線に点在している。

ムラの成立はよく分からないが、お宮に宝暦十二年七月〇〇(一七六二)と刻まれた夜燈がある。この時代斑尾山麓に幾つかの新田(新しいムラ)がつくられている。深沢もその一つかも知れない。また明治初期の長野県町村誌に「豊津村深沢組」と記載されている。行政の仕組が分かる。

史跡はムラの南の台地に山城の跡がある。城址は在地土豪の要害とは考えにくく、「狼煙台」として築かれたといわれている。のろしを狼の煙と書く、のろしは狼と関係がありそうである。この狼煙

台は武田のものか、上杉のものかは分らない。

次にムラの特徴として児童の通学区の歩みがある。豊津村は明治二十二年豊井村となるにつれ、深沢の児童は新しくできた碓の豊井小学校日向分教場へ通学している。時は流れて昭和十六年、学制は国民学校となり、更に昭和二十二年現行の六・三制となる。この六・三制以前の深沢の児童は、日向分教場六年の過程を終了すると、永田尋常高等小学校の高等科へ進学する。

豊田深沢を訪ねて



山王社でのお宮参りの様子
(豊田深沢分館提供)

合された。

お寺のないムラはあってもお宮のないムラはない。深沢には山王社がある。祭神猿田彦命が祀られている。昔は春祭・秋祭・大祓の祭りがあった。昭和十七年頃まで秋祭りは近くの深沢(祭神八幡さん)と一緒に行われたと伝えられている。今は分れて九月下旬替佐の風間神官の祝詞奏上に併せ参拝が行われている。頭屋は区長が奉仕されている。(頭屋とは祭を主宰する人)

話者

○清水博定さん(豊田深沢)

○田中 悟さん(赤坂)

(小林修一)

今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	きり絵体験コーナー	4月1日(金) 午前10時～午後3時	中央公民館 教室	中野きりえの会 の皆さん	<申込み>不要 <受講料>無料 *カッター、材料等は、用意してあります
	公民館ギャラリー シニア大学クラブ活動の作品展(ちぎり絵・折り紙)				
西部公民館	近世文書 (古文書)講座 <内容>西部地域に残る 古文書の解説	4月11日・5月9日 6月13日・7月11日 8月8日・9月12日 10月17日・11月14日 12月12日・1月16日 2月13日・3月12日 毎月月曜日全12回 午後7時～午後8時30分	西部公民館	高井地方史研究会 常任委員 岩戸 貞彦 先生	<申込み>随時 <受講料>無料
豊田公民館	親子クッキング教室	3月23日(水) 午前9時～午後1時	豊田公民館 (集合場所)	矢沢 玉枝 先生	<定員>15組 <食材費>一人350円 <対象者>市内小中学生と保護者 (小中学生のみでも可) <持ち物>エプロン、三角巾、タ ッパー <申込み>3月17日(木)まで
	初級英会話教室	4月5日から 毎週火曜日 午後7時～午後9時	豊田公民館	レイニング・ デビット・ マーティン先生	<受講料>無料

中野市成人式のお知らせ

One Piece

～自分だけのパズルを完成しよう～

平成2年4月2日～平成3年4月1日生まれの方が対象となります。

なお、平成23年2月1日現在で中野市に住民登録している方を対象に3月中に案内状をお送りします。現在、市外にお住まいの方で中野市成人式に出席を希望される方は、事前に中野市中央公民館までご連絡下さい。

期 日 5月4日(みどりの日)

時 間 午前9時30分 受付
午前10時 開式

会 場 市民会館ホール

第30回 中野市民書道展

毎年、ひな市に市内の書道愛好者の作品が一堂に会す書道展です。奮ってご応募ください。

出品資格 市内在住・在勤している方、または、市内の書道グループに所属している方

出品数 1人1点まで(未発表の作品に限ります)

出品規格 ●一般の部(高校生を含む) 条幅半折の大きさで、裏打ち仮巻き着装

●小中学生の部 条幅半折4分の1縦長書、裏打ちをしないで仮巻き着装

申込み 3月23日(水)まで 所定の出品申込書により中央公民館へ申込み下さい

展示期間 3月31日(木)～4月1日(金)
午前9時～午後6時

展示会場 中央公民館 講堂

大人の朗読会～第1回朗読フェスティバル IN NAKANO

日頃の雑事から解放されて 朗読の世界に浸りませんか!

日 時 3月20日(日) 午後1時30分～午後3時30分(開場 午後1時)

場 所 中央公民館2階 勤労青少年ホーム集会室

内 容 向田邦子、芥川龍之介、松谷みよ子などの名作を朗読します。ぜひ、お聞き下さい。

主催 おはなしネットワーク☆NAKANO 共催 中央公民館



いち、にっ、さーん／古牧橋上流（倉田昭平）



ミカン／七瀬（㊦）



冠雪／自宅（月岡尚雄）



ありがとう2000型／竹原鉄橋（倉田昭平）

花と季節の写真募集

宛先

〒383-0025
 中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館
 ☎22・2691
 Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限りません・四ツ切りまで（ワイドサイズも可）のプリント、デジタルデータ（未加工のもの）。

氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

季節のコラム

温暖化防止にひかり

植物は太陽の光をかりて、空気中の二酸化炭素と根から吸収した水を使って、自分で養分を作り、酸素をはき出します。これが光合成ということは、ほとんどの方がご存知だと思います。

ノーベル化学賞を受賞した根岸英一・米パデュー大特別教授が、地球温暖化の原因となる二酸化炭素(CO₂)から触媒に金属を使い、医薬品など有用な化合物をつくり出す「人工光合成」の実現を目指し、今年の初頭、研究計画を立ち上げました。

温暖化防止にはCO₂を吸収する森林の保全が重要とされているが、今回の計画はCO₂を原料として役立てようとの狙いだ。

このプロジェクトの早期実現に大きな期待を抱くとともに、私たちが住む地球を大切にしようという気持ちがあわいてきます。かけがえのない地球を守っていくのは、今生きている私たちだから。